

(様式第1号)

自己評価及び外部評価結果票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4171600176		
法人名	有限会社 佑紀苑		
事業所名	グループホーム 佑紀苑		
所在地	佐賀県杵島郡白石町大字福富3125番地2		
自己評価作成日	平成23年3月1日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigojouhou-saga.jp/kaigosip/Top.do
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	平成23年3月25日	外部評価確定日	平成23年4月21日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

地域密着型サービスの意義をふまえ、地域の民生委員の方や婦人会の方たちには協力をお願いしている。誕生会の時には、ご家族様にも声をかけて参加して頂き、一緒に昼食も食べて頂きお祝いをしている。また、その時老人会長様にも参加して頂き、余興をお願いし誕生会を盛り上げて頂いている。佑紀苑の理念である「やすらぎと安心のある生活をご一緒しましょう」を念頭に置きながら、日々入居者様中心のケアに努めています。スタッフ一丸となり、笑顔の絶えない明るいホームを目指しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

職員の笑顔と明るく優しい言葉かけ、一人ひとりの尊厳を大事にしながらのさりげない接遇、利用者の自己主張や思いに寄りそいながらの支援、利用者の生活ペースで過ごせ、ゆっくりと流れる一日等が利用者の表情を柔らかく、表情を豊かにしている事業所である。また、職員は、家族が話しやすい雰囲気づくりに努めており、家族は何でも相談出来ると感じている。家族会に代わる家族交流会や誕生会への家族の参加は、家族同士や事業所との結び付きを更に深めている。事業所が現在の地に移転してから2年目であるが、地区の自治会にも加入し、清掃作業などの行事にも参加し、地域との結び付きを深める努力をしている。一緒に買い物や散歩に行ったり、希望する場所に度々出かけるなど、日常の外出支援も活発である。事業所の建物も新しく、明るくやわらかい日差しが差し込んでいる。特に各居室の配置には管理者のこだわりがあり、利用者は、ゆったりと安らぎのある毎日を過ごしている。

自己評価および外部評価結果

【セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。】

自己	外部	項 目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅰ. 理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	”やすらぎと安心のある生活を一緒にましよう”の理念を念頭に置き入居者様との日々の生活を大切にしている。	地域の中でその人らしく暮らし続ける事を基本に置いて日々の支援に臨んでいる。理念を毎日の引き継ぎ会で唱和し、日々の実践につなげている。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	一年を通して清掃活動等には、地域の一員として参加している。また行事の時には地域の方々へも参加して頂けるよう声かけや案内をしている。	地区の自治会に加入し、回覧板や地域住民から情報を得たり、地域に情報発信をしている。また、地域の清掃活動や芸能祭などにも参加している。月々の誕生会には、老人会会長も参加している。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の行事(文化祭等)への参加や、苑の行事等へ参加して頂き、地域の方々との交流を深めている。			
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議で、地域の方々の情報や意見等参考にし、サービスの向上に繋げている。	会議は、2ヶ月毎に開かれている。サービス状況の報告や質疑だけでなく、近隣住宅への非常時自動通報システムのお願いや外出時の応援、推進会議に他地域の方にも出席をお願いして事業所の理解を深めるなど、運営面にも活かされている。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	2ヶ月に1回は会議に参加して頂き、協力して頂けるようお願いしている。	運営推進会議へ町担当課の出席だけでなく、事業所からも行政の担当課に出かけ、情報を得たり、事業所の実情を伝えて問題解決を図っている。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束は行っておらず、入居者様のペースで生活して頂けるように配慮している。	これまで身体拘束にあたる事例は無い。言葉による拘束も無いように常に留意している。外部での研修会にも参加し、全員で拘束の及ぼす弊害を勉強している。玄関や居室の施錠もなく、職員の目と耳、利用者の様子等から外出入を把握し、支援している。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待行為は一切なく、入居者様に対しては尊厳を持って接している。			

自己	外部	項 目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	入居者様の為にも、利用できる制度は活用出来るように支援していきたい。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居・退居時には十分な説明を行い、理解や納得をして頂いている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ケアプラン作成時や運営推進会議等で本人様ご家族様の意見をお聞きしている。外部の窓口がある事についての説明も行っている。	家族や利用者が話し易い雰囲気作りを心がけている。リビングには湯茶も用意されている。家族会はないが、家族交流会や誕生会に家族にも参加してもらい、そこで出された意見や要望等を運営に活かしている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ケア会議などで話し合い、今後の運営に反映するように努力している。	定例の会議だけでなく、毎日の申し送りやケアにおいても意見や提案が遠慮なく出されている。そして、即座に検討し、実行に移されている。職員懇親会や食事会も意見交換の場になっている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	勤務時間はスタッフ個々の希望をとっている。向上心を持って働けるよう職場環境、条件の整備に努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内部研修はケアカンファレンス時に事例をもとに対応等周知している。外部研修は情報を全スタッフで共有し参加したスタッフは報告書を提出している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	町内のグループホームと3ヶ月に1回の会議(交流会)にて情報交換をし質の向上に努めている。		

自己	外部	項 目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前にアセスメントを十分に取り、早く馴染んで頂けるようコミュニケーションを取りながら、安定した生活の支援に努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	十分に苑内の雰囲気や周辺の環境等良く理解して頂き、家族様へも安心して頂けるよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人様とご家族様の思いを聴き、必要とされている支援の見極めを行うよう努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	人生の先輩より学ぶ姿勢を大切にし、考えあう関係を築いている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様との連絡を蜜に取りながら、本人様が安心して生活が送られるよう努めている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族様やお友達等いつでも面会に来て頂けるような環境作りに努めている。	地域に過ごす友達や知り合いの訪問があっている。また、地域のかつての様子がわかるビデオを持って訪問する方もあり、利用者も楽しみにしている。行きつけの美容院を希望する方もあり、その人の生活習慣を尊重した支援が行われている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	孤立されないようにスタッフが中に入り、皆様と一緒に語り合える場づくりを行っている。		

自己	外部	項 目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去された方へも、敬老会や苑のイベントには案内状を送付している。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人様の要望を大切にプラン作りに努めている。また、サービスに反映できるよう努めている。	入居時の諸情報だけでなく、日々入居者と触れ合う中で、会話やつぶやき、行動、表情、感情の発露等からも本人の思いや意向の把握に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前にアセスメントを十分に取り、今後のケアに活かせるよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人一人と向き合いながら現状の把握に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケア会議時に話し合いをし、より良いケアができるよう全スタッフの意見を参考にし、プランを作成している。	本人本位に具体的な介護計画が職員全員で作成されている。評価、見直しは3ヶ月毎、或いは実情に応じて随時行われている。作成された計画は家族に説明し、話し合いも持たれている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアプラン作成時、日々の記録、経過を活かし見直しを行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族様の事が気がかりな方には、直接電話をかけて頂いたり、本人様の希望により面会の支援を行っている。		

自己	外部	項 目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の方々の協力にて、災害時の連絡網の支援をして頂いている。町の文化祭等にも参加している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居者様が安心して受診できるようご希望通りの病院を利用して頂いている。	利用者や家族が希望するかかりつけ医での受診としている。協力医療機関が事業所の近所にあり、そこで受診されている方がほとんどである。協力医療病院以外で受診する方もあるが、その場合もきちんとした職員の支援が行われている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとれた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	スタッフは日常の健康管理を行い、心配事は看護師へ相談し、急変時には入居者様が適切な受診、看護を受けられるよう支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入居者様の入院時には、ご家族様と病院関係者との情報交換を蜜に行い支援に努めている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居者様が重度化した場合の対応に係る指針を、ご本人様とご家族様へ説明し同意を頂いている。	重度化した場合における対応の指針と看取り介護の指針があり、家族と納得のいく話し合いがもたれ、同意を得ている。重度化の場合はその都度、状態に応じて主治医の意見を聞きながら、話し合いが持たれている。これまで看取り介護の例は無い。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	医療に関する研修にも参加し、応急、緊急時マニュアルに沿って速やかに対応できるよう努めている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回、昼夜の災害を想定した避難訓練をスタッフ、入居者様と共に行っている。地域の方々にも協力体制を築いている。	消防署の指導を受け、自動通報システムを使つての避難訓練が行われている。地元消防団、婦人会、近所の方とも連携が保たれている。	

自己	外部	項 目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様へは常に尊厳を持つての言葉かけや対応を心がけている。	一人ひとりを大事にし、敬意をもって利用者に接している。介護や誘導、言葉かけや接遇にさりげない配慮がされている。写真掲載については、同意を得るなど、個人情報まきちゃんと管理されている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	常に声かけをしながら、ご自分の意見を言えるような環境作りに努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	全ての希望にそうことは難しいがなるべく希望にそった支援が出来るよう努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	化粧道具等をそろえて、お出かけ時、オシャレができるよう支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	日々の食事時、スタッフは入居者様と一緒にテーブルにつき食事をしている。可能な限りは配膳や下膳、調理の下ごしらえ等お手伝いして頂いている。	和やかで家庭的な食事風景を思わせる。会話もあり、職員はさりげなく見守りながら一緒に食事を摂っている。献立に利用者の希望を取り入れたり、食材の買い出しに一緒に出かけたりしている。また、栄養士の助言を受けたり、食前には嚥下運動も行われている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養のバランスの摂れた食事と量に気をつけている。水分摂取においても、一人一人の状態に合わせ配慮している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを行い、週に1回入れ歯洗浄剤ケアを行っている。		

自己	外部	項 目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	自立された方が多いが、その方に合った排泄の声かけ誘導等を行っている。	各人の生活リズムを大事にしながら、排泄支援も一人ひとりに応じて行われている。ポータブルトイレの使用時や失禁があった場合も本人の気持ちを大事にして、さりげなく対応している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘にならないように、バランスの取れた食事の提供、水分量にも注意し、日々の生活の中で運動も取り入れている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	一人一人の希望や体調にも配慮しながら入浴を楽しんで頂く支援をしている。	週に3回の入浴を基本にしているが、希望する方は何時でも入浴できる。時間帯は午後入浴希望が多く、ゆったりとした入浴である。入浴を避ける方には無理をせず、清拭などで対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人様のペースを大切に、休息して頂いている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬情を頂き、理解した上で日付、名前の記入を徹底し、支援に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人一人その方に応じた役割を支援している。朝の掃除、洗濯物干し、たたみ、ぬり絵、外出等気分転換の支援をしている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	その日の体調、天気、希望に応じて散歩に出かけている。週に3回以上、買い物やレクも取り入れ外出支援を行っている。他にも季節ごとに花見や外食等の支援に努めている。	一人ひとりの希望や習慣を大事にしながら、買い物や散歩に出かけている。公園や近くの広場に出かける時は車椅子も使用している。希望によって芸能祭やリサイタル、花見、近くに飛んできたパルーンの見学などにも出かけている。民生委員の協力をえながらの遠出もある。	

自己	外部	項 目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	一人一人の希望や能力に応じて苑で管理したり、使えるように支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望時には、本人様より電話して頂いたり支援している。手紙を書かれる方は、代筆の支援も行っている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間には、清潔感のある観葉植物や花等を飾り、居心地良く過ごして頂く様工夫している。	リビングは、南側の大きな窓から差し込む光で明るい。季節の花や新聞、テレビ、湯茶も置いてある。テーブルやソファでは、利用者が思い思いに過ごしている。対面式の台所からの調理の音や匂いは家庭の生活を感じさせる。トイレや浴室もゆっくりと利用できるつくりになっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファに座って談話して頂けるよう、居場所の工夫をしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、ご自宅で使用されていた椅子や家具類を配置しご家族との写真を飾ったりし、居心地良い空間作りの支援をしている。	各居室ともその方の好みに合った部屋の構成になっており、趣味や馴染みの品が置かれている。寝具、洋服、机、椅子、化粧品、趣味のぬり絵、写真、仏壇、その他色々な物が見受けられ、利用者の安らぎの場になっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人一人が自立できるよう必要以上に手を貸さないように支援している。障害物を取り除き、安全、安心できる生活の支援をしている。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目))(事業所記入)
※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印をつけてください	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の
			2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37)		1. ほぼ全ての利用者が
		○	2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目:49)		1. ほぼ全ての利用者が
		○	2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印をつけてください	
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目:28)		1. ほぼ全ての利用者が
		○	2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)		1. ほぼ全ての家族と
		○	2. 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)		1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある
		○	3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている
			2. 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1. ほぼ全ての利用者が
		○	2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1. ほぼ全ての家族等が
		○	2. 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない